

## ■通信欄の主な意見

- ・ 全てのプラスチックの削減は基本的には可能だろうが、そのために導入される新たな技術の環境負荷については心配するところがある。技術を別の技術で補うことへの不安がある
- ・ マイパックの利用、ペットボトル飲料より紙パック飲料を選ぶなど、自分のできごとをやっていきたいと思います
- ・ プラスチックは昔の生活では使用されていなかったもので、なくすことは不可能ではないのかもしれない。しかし、種々の事由で一度にすべてを使用不可とすることは生活に支障をきたすと考えられる。代替品に変更するにしても一斉にこの日をもってとはならないのかな？
- ・ 便利さの裏には必ず、デメリットがついてくる。市民、個人個人も昭和 30 年代くらいの暮らしに戻ることができたらと思う。理想論ですが
- ・ 便利さを求めるあまり地球環境を壊してきたことへの反省と、より良い世界を作るため、シニア世代の責任は重いと考えています
- ・ 全てにおいて結果論だけであり、具体的な対応策が必要である。一部にはプラスチック類に替わるものが出てきているが、もっと国が企業に予算を出すべきだと思います
- ・ レジ袋とストロー辺りがクローズアップされているが、食品(菓子類含む)や衣料品等、プラスチック以外で包装できるものへの対応が遅れている
- ・ 欧米諸国と比較すると、日本の意識(政府もマスメディアも国民も)は低すぎる。思い切った法制化も必要だと考える
- ・ 他国のプラスチック対策に比べ、日本は余りにも遅れていると思いました
- ・ ケニアではレジ袋等のポリ袋は禁止で、ひどく高額な罰金が法律で定められている。そこまですることは賛否あると思うが、そのくらいしないと問題と真剣に向き合わない人が多いだろう。便利な生活を経験してしまうと不便な生活に戻ることは難しいだろうが、便利さばかり求めてはいけないことを皆知るべきだ。そして、知るだけでなく、実行することが肝心だ。私自身も徐々にではあるが、生活を見直している